イ　小児科定点

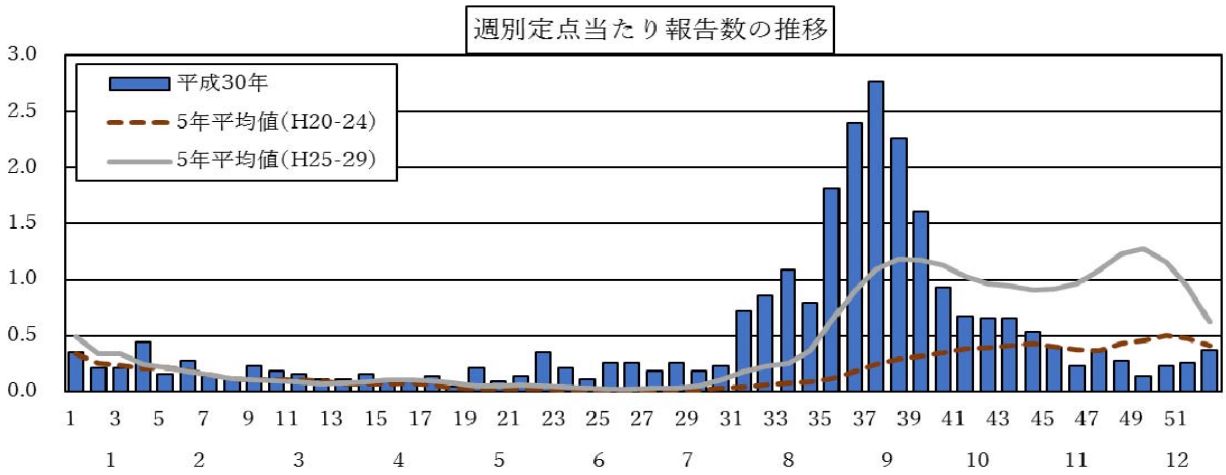
(ｱ)　ＲＳウイルス感染症

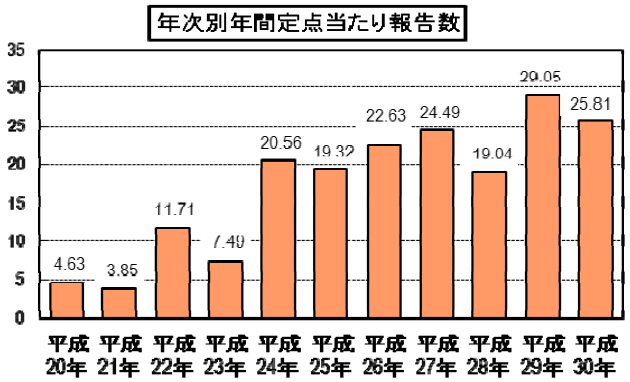
平成30年は年間報告数1,110例，年間定点当たり報告数25.81であり，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比は1.13，前年比は0.89であった。

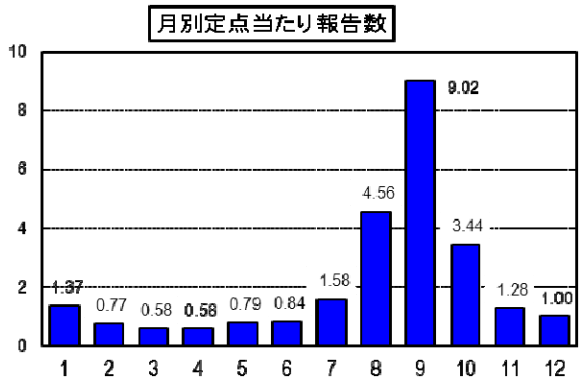
過去10年間の年間当たり報告数では，平成29年に次いで多かった。平成24年以降，増加傾向が続いている。

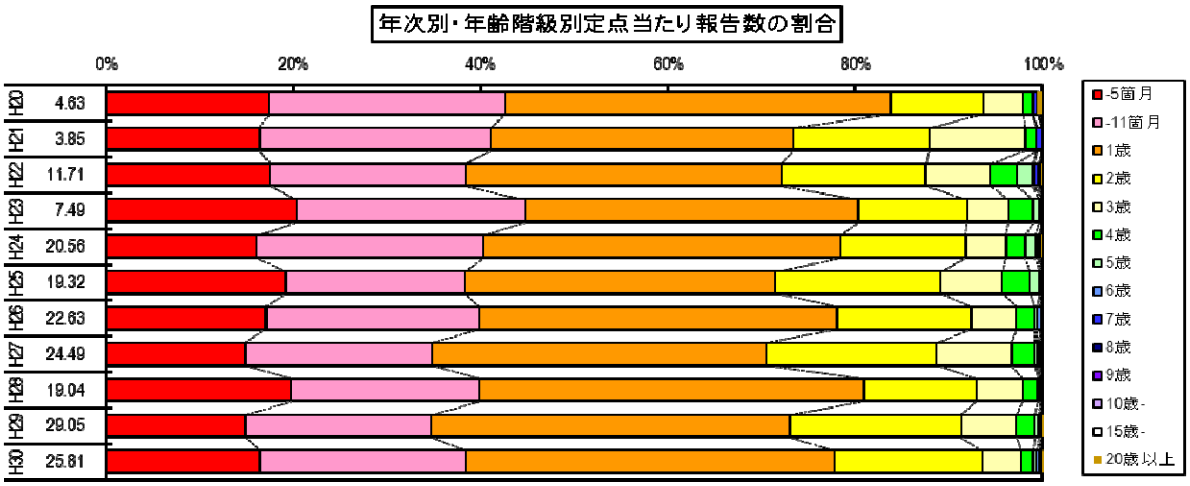
月別定点当たり報告数では9月（9.02），8月（4.56），10月（3.44）が多かった。

年齢階級別では，1歳（39.3%）が最も多く，次いで6箇月～11箇月（22.0%），0箇月～5箇月（16.5%），2歳（15.9%），の順となり，2歳以下が全体の93.7%を占めた。







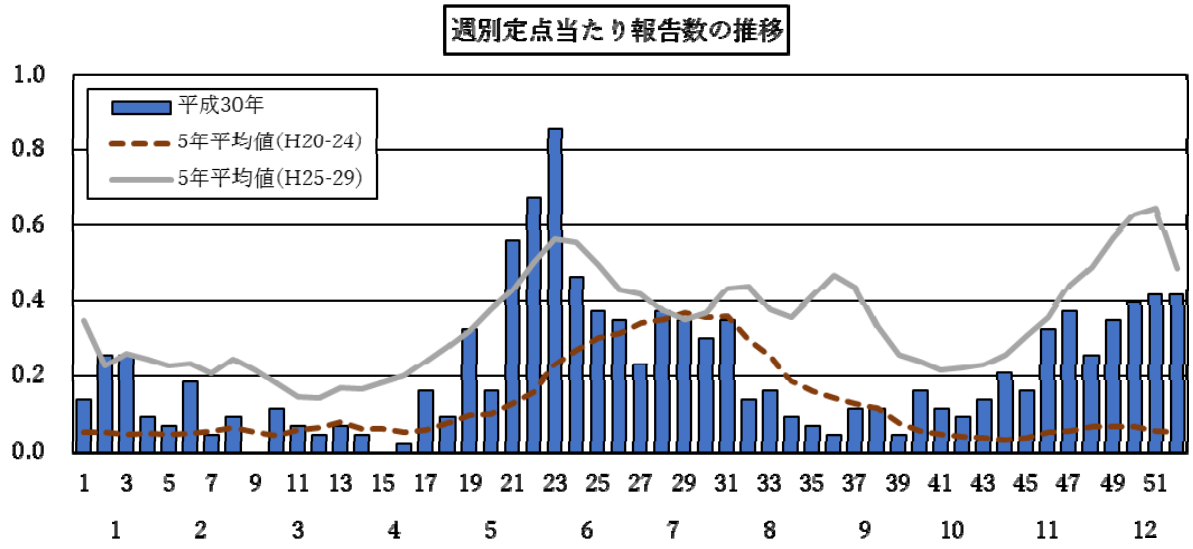


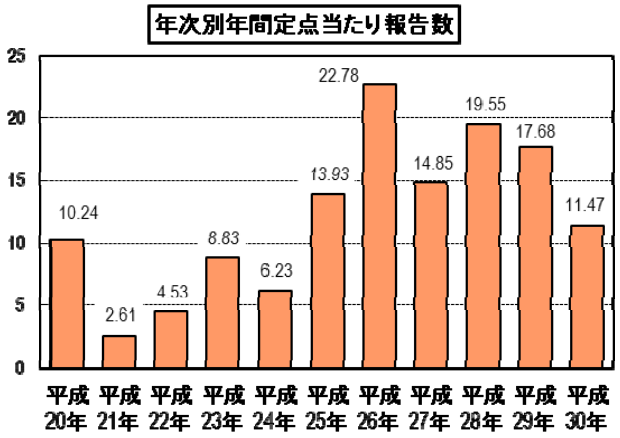
(イ)　咽頭結膜熱

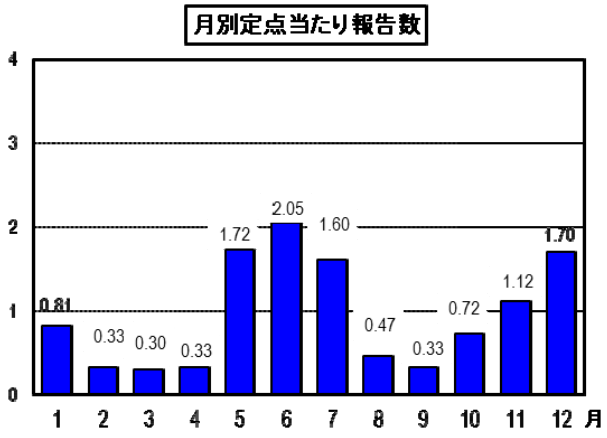
平成30年は年間報告数493例，年間定点当たり報告数11.47，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.65，前年比0.65であった。

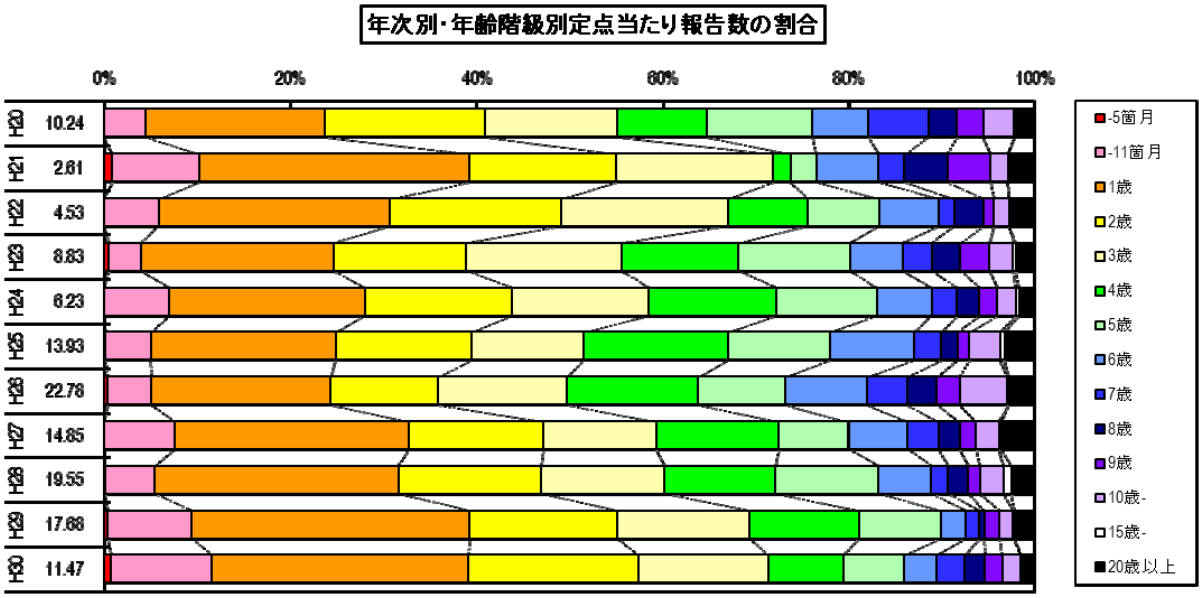
月別定点当たり報告数では6月（2.05），5月（1.72）及び12月（1.70）が多かった。

年齢階級別では1歳（27.6%）が最も多く，次いで2歳（18.3%），3歳（14.0%）の順となり，1～3歳以下が全体の59.9%を占めた。









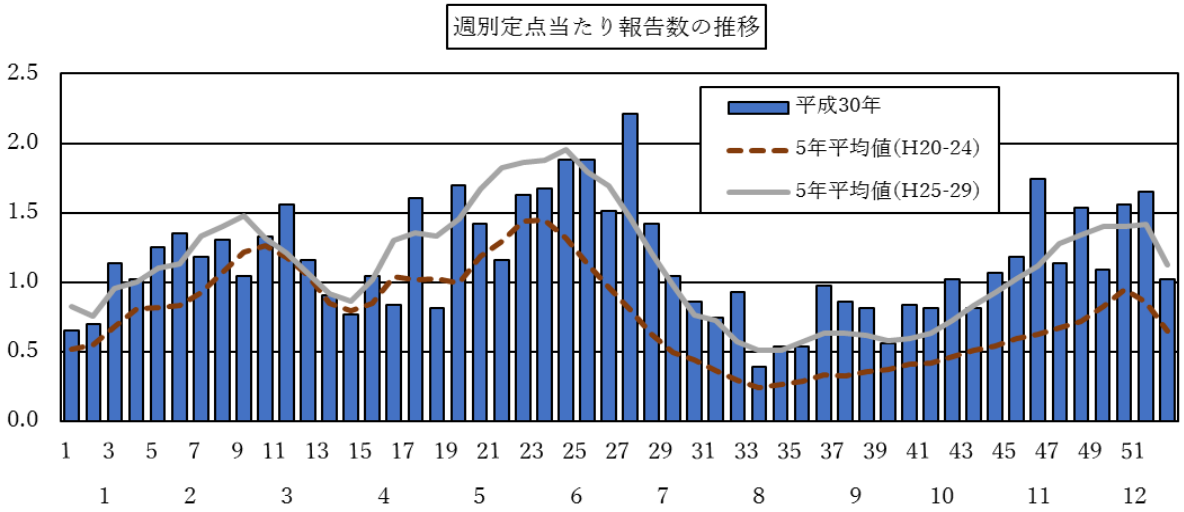
(ｳ)　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

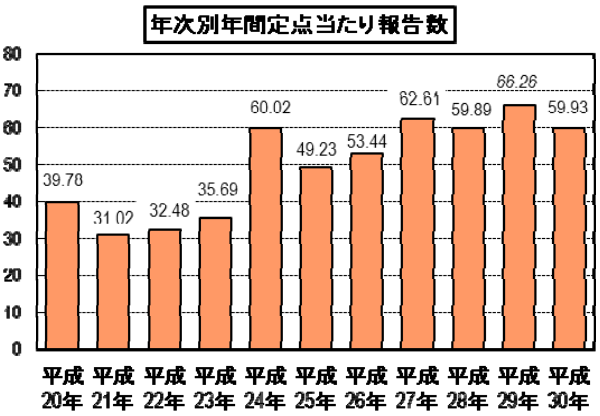
平成30年は年間報告数2,577例，年間定点当たり報告数59.93，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.03，前年比0.90であった。

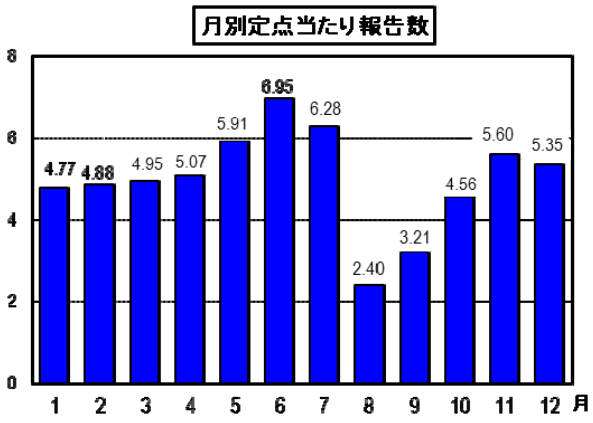
過去10年間の年間定点当たり報告数は平成29年，27年，24年に次いで4番目に多かった。

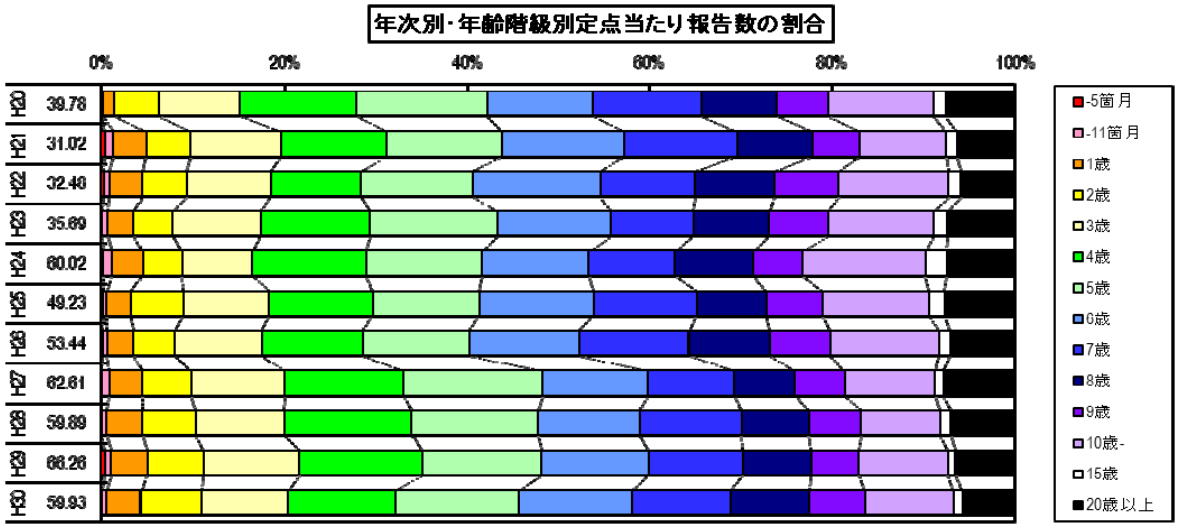
月別定点当たり報告数では，6月（6.95），7月（6.28），5月（5.91）の順に多かった。

年齢階級別では，5歳（13.5%）が最も多く，　6歳（12.5%），4歳（11.8%），7歳（10.7%）の順となり，4歳～7歳が48.5%を占めた。







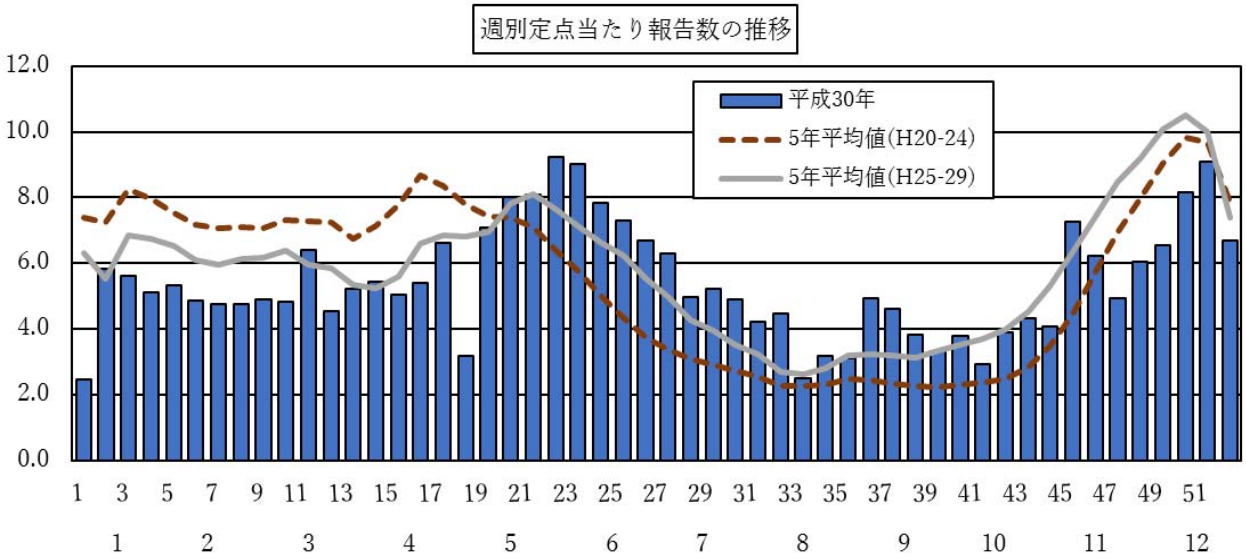


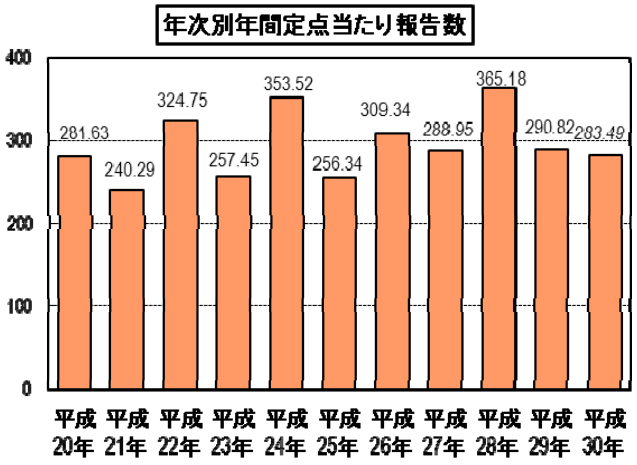
(ｴ)　感染性胃腸炎

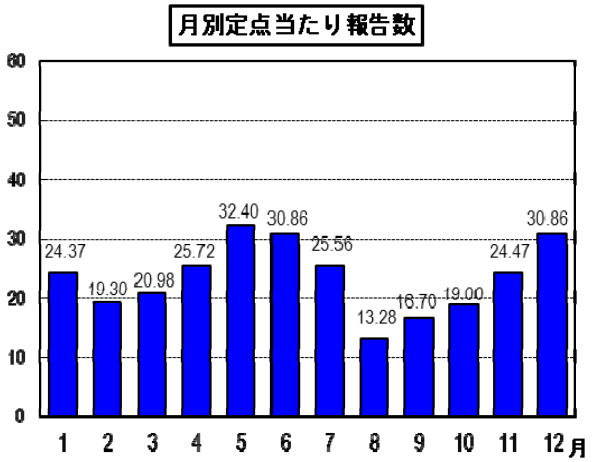
平成30年は年間報告数12,190例，年間定点当たり報告数283.49，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.92，前年比0.97であった。

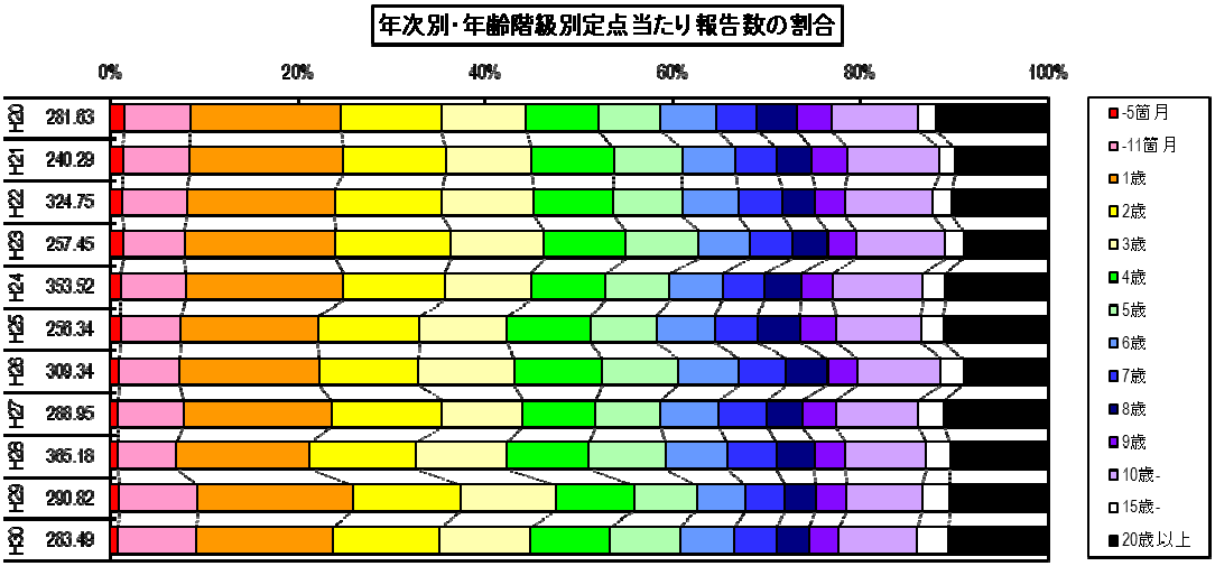
月別定点当たり報告数では5月（32.40），6月及び12月（30.86）の順に多かった。

年齢階級別では，1歳（14.5%）が最も多く，次いで2歳（11.4%），20歳以上（10.5%）であった。









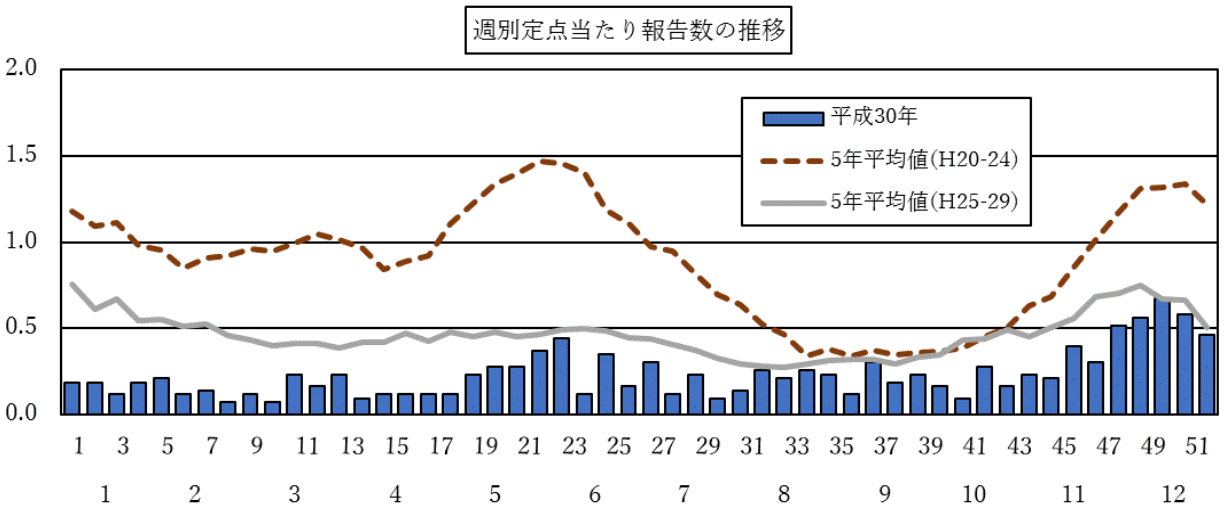
(ｵ)　水痘

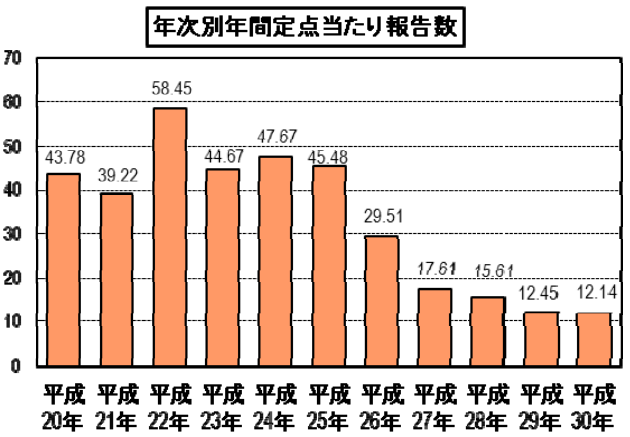
平成30年は年間報告数522例，年間定点当たり報告数12.14，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.49，前年比0.98であった。

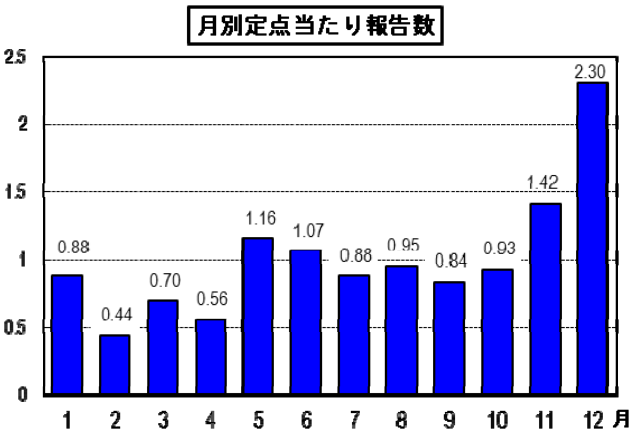
年間定点当たり報告数が平成25年から連続して減少し，過去10年間で最少となった。

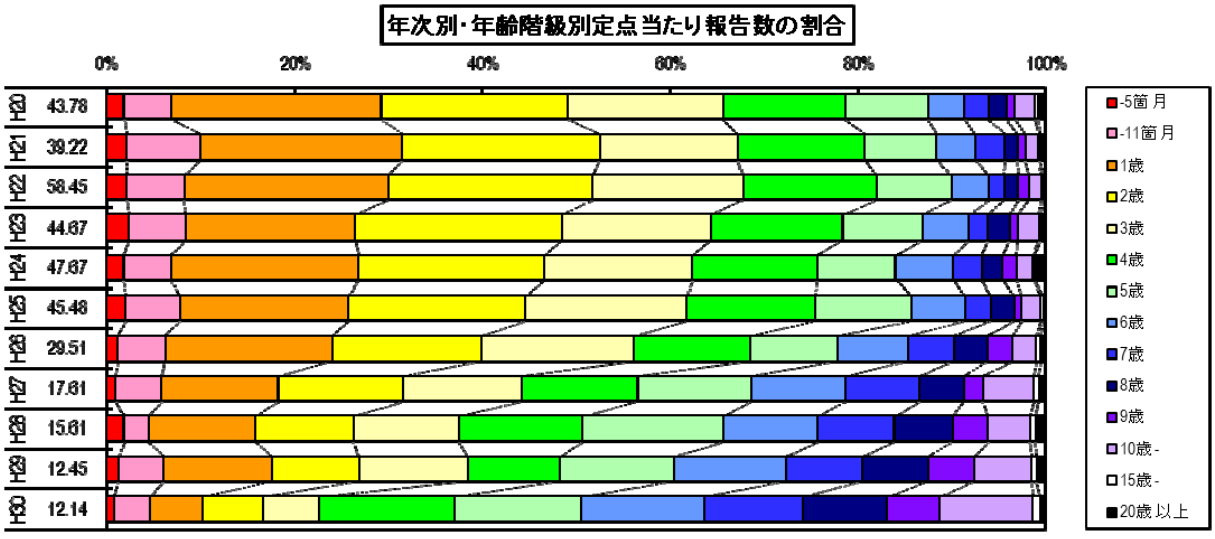
月別定点当たり報告数では，12月（2.30），11月（1.42），5月（1.16）の順に多かった。

年齢階級別では，4歳（14.4%）に次いで，5歳（13.6%），6歳（13.0%），7歳（10.5%）の順に多く，4～7歳が全体の51.5%を占め，3歳以下の割合は年々減少している。









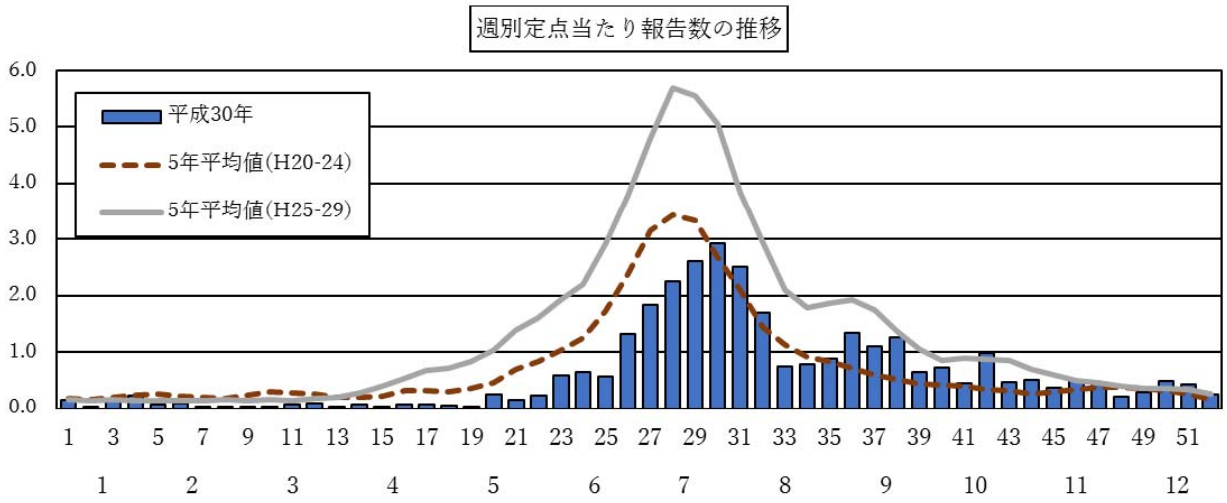
(ｶ)　手足口病

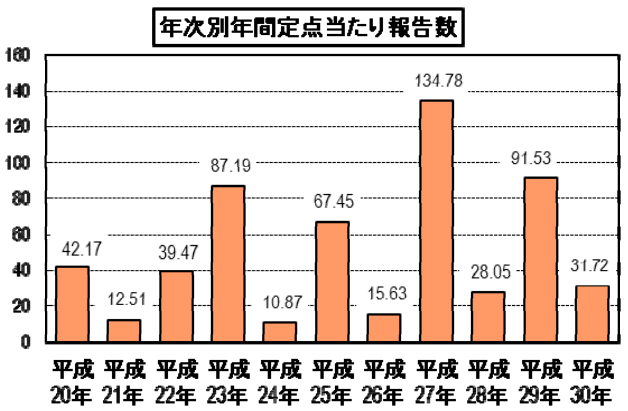
平成30年は年間報告数が1,364例，年間定点当たり報告数は31.72，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.47，前年比0.35であった。

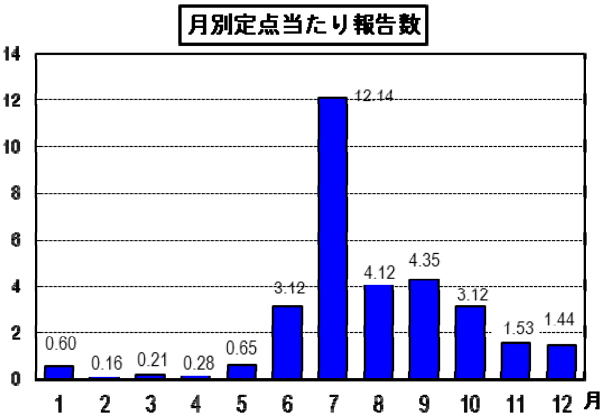
過去10年間の年間定点当たり報告数をみると，ほぼ隔年で増減を繰り返しており，平成30年は少ない年であった。

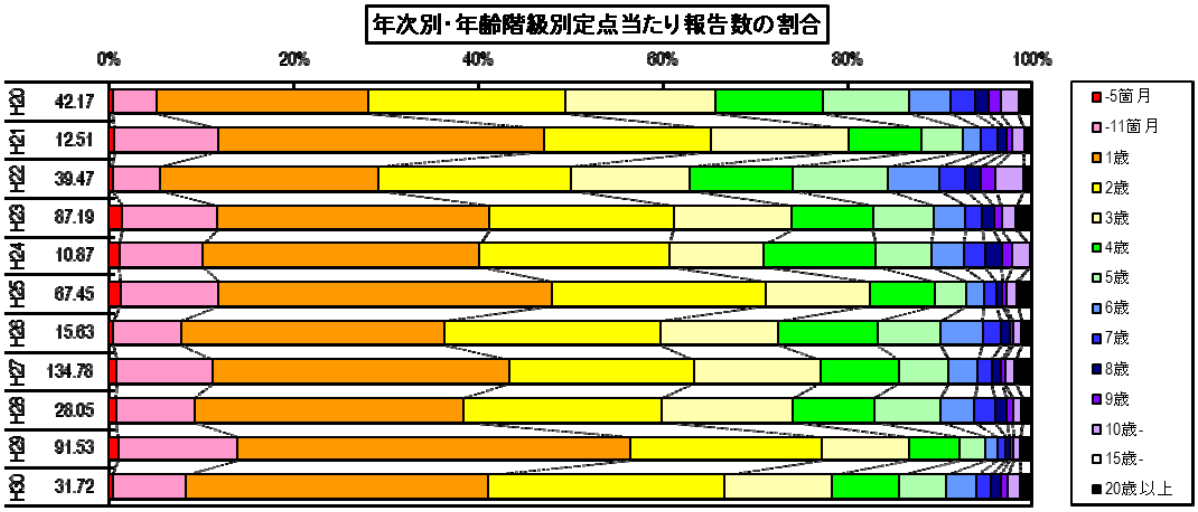
月別定点当たり報告数は，7月（12.14），9月（4.35），8月（4.12）の順に多く，2月～4月の報告数は少なかった。

年齢階級別では，1歳（32.8%）が最も多く，次いで2歳（25.7%），3歳（11.7%）となり，1歳～3歳が全体の70.2%を占めた。







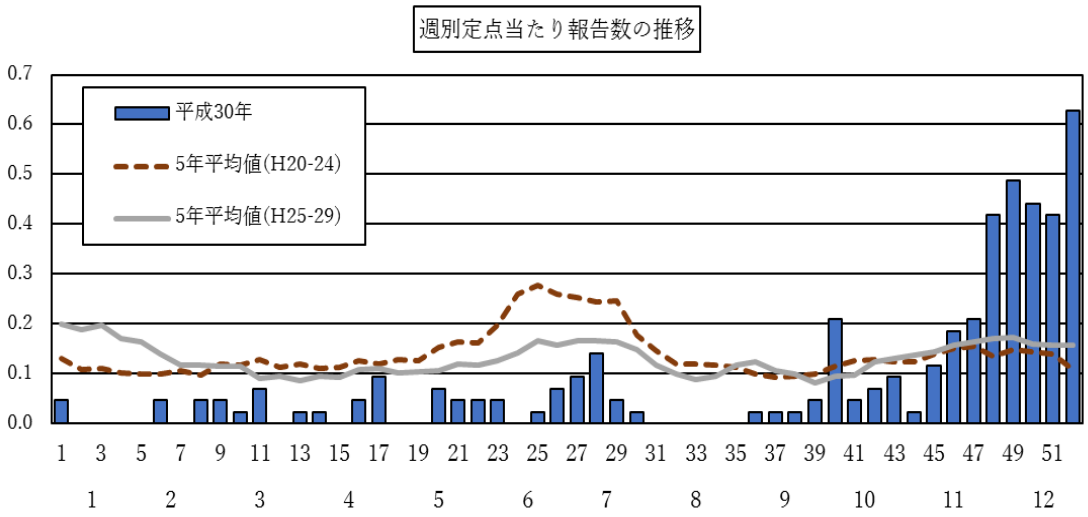


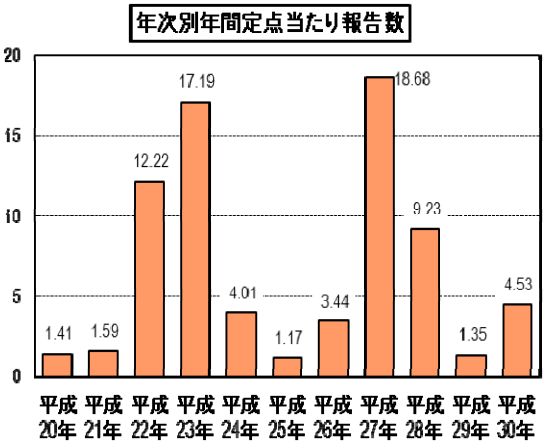
(ｷ)　伝染性紅斑

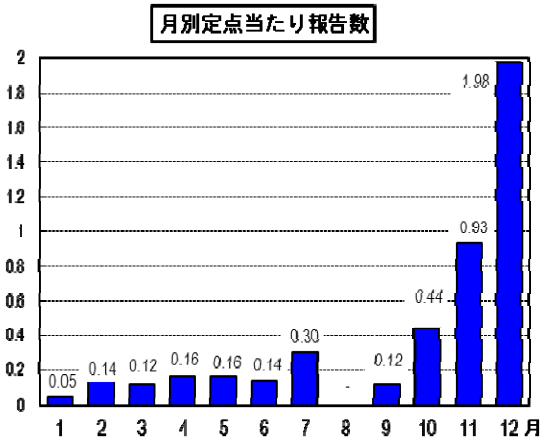
平成30年は年間報告数195例，年間定点当たり報告数4.53，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.67，前年比3.36であった。第48週以降，報告数が急増した。

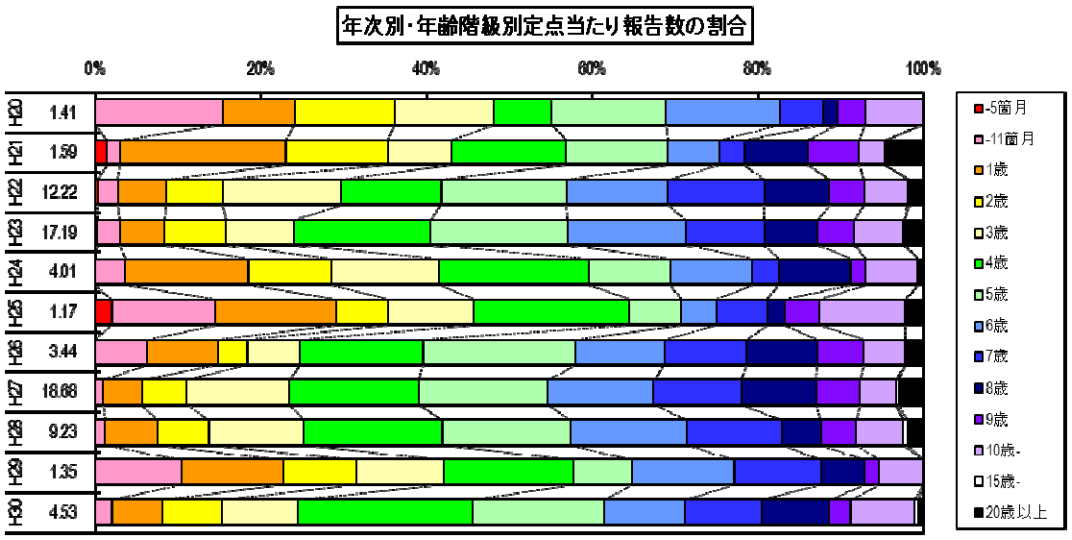
月別定点当たり報告数では，12月（1.98）が最も多く，次いで11月（0.93），10月（0.44）の順に多かった。

年齢階級別では，4歳（21.0%）が最も多く，次いで5歳（15.9%），6歳（9.7%）の順であった。









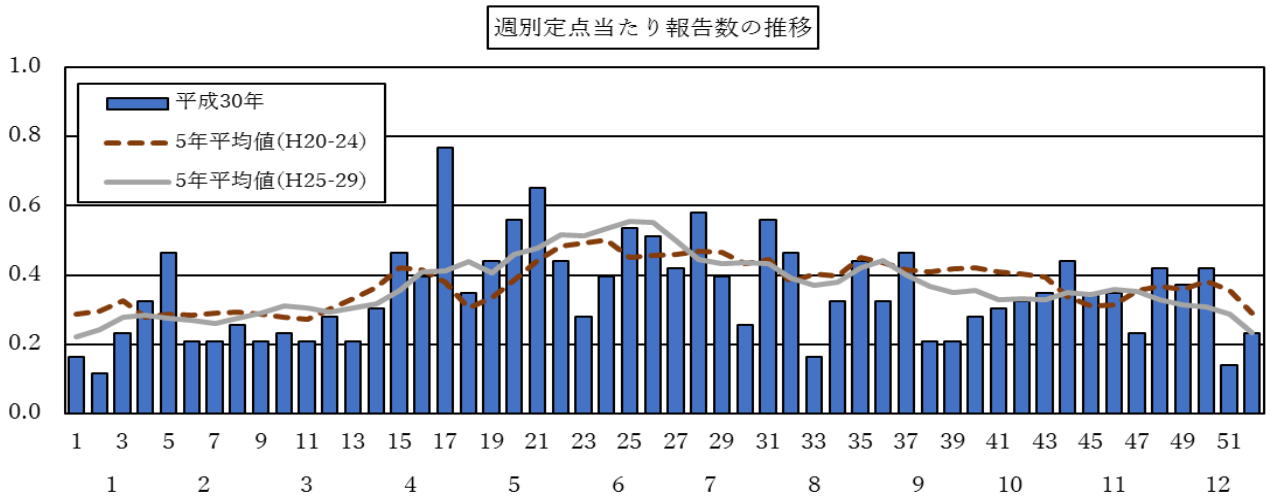
(ｸ)　突発性発しん

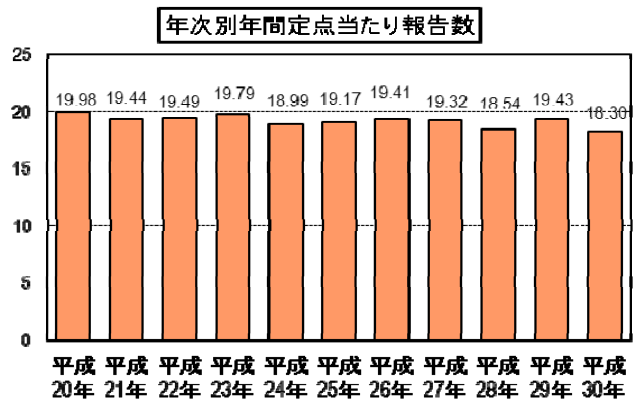
平成30年は年間報告数787例，年間定点当たり報告数18.3，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.95，前年比0.94であった。

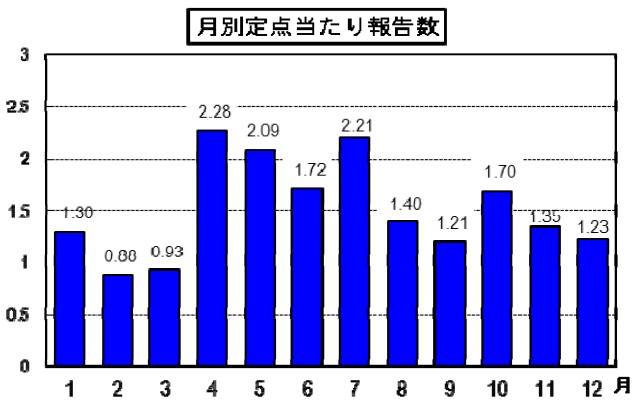
過去10年間の年間定点当たり報告数は横ばい傾向で，平成30年は最も少なかったものの，平均値（19.36）をやや下回る程度であった。

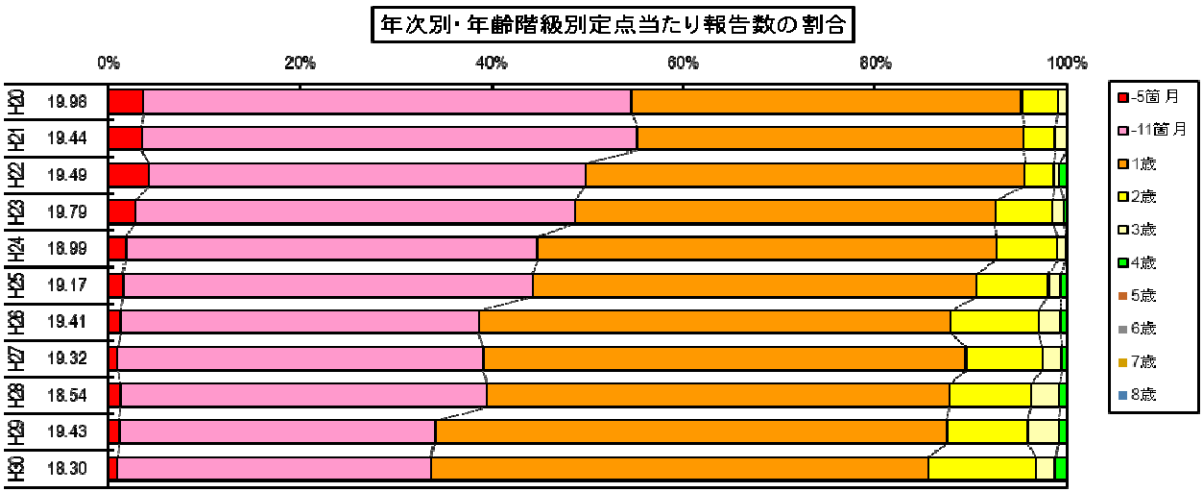
月別定点当たり報告数では，4月（2.28）が最も多く，次いで7月（2.21），5月（2.09）の順に多かった。

年齢階級別では，1歳（51.8%）が半数以上を占め，次いで6箇月～11箇月（32.7%）の順で，1歳以下が全体の85.5%を占めた。









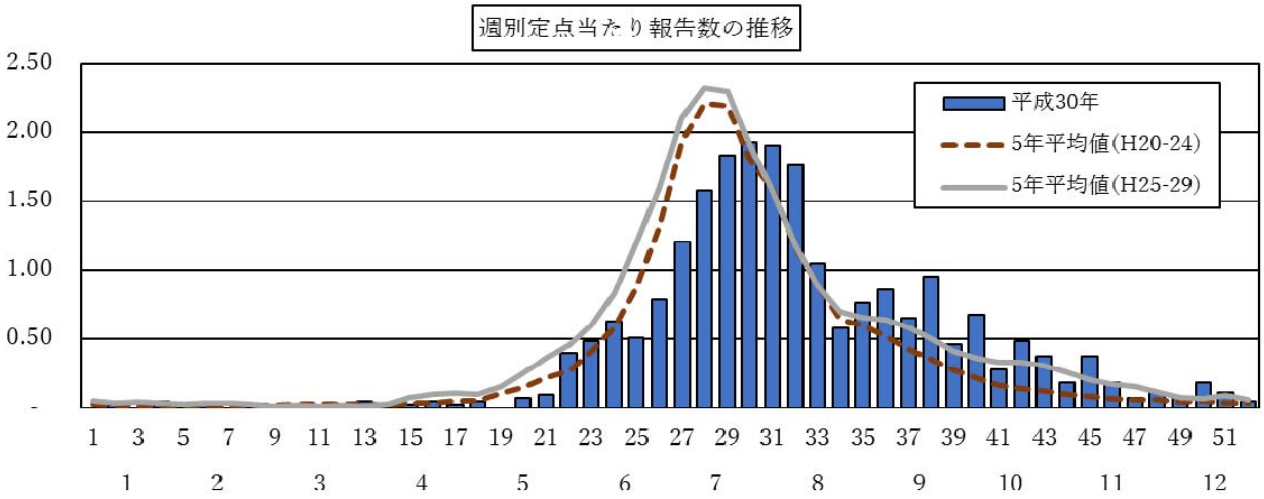
(ｹ)　ヘルパンギーナ

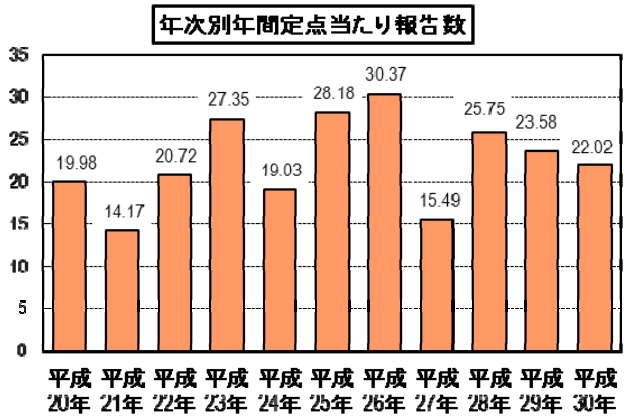
平成30年は年間報告数947例，年間定点当たり報告数22.02，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.88，前年比0.93であった。

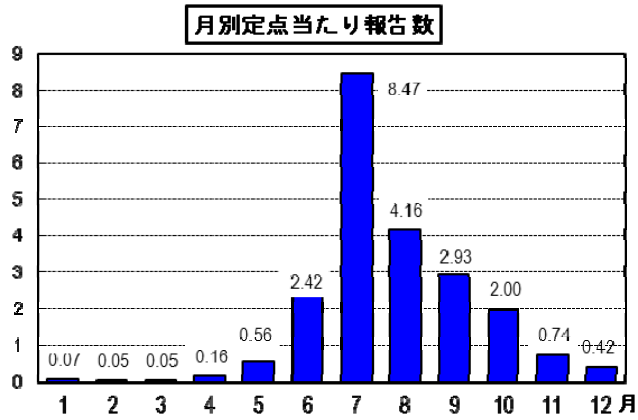
過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると中央値（22.15）に近かった。

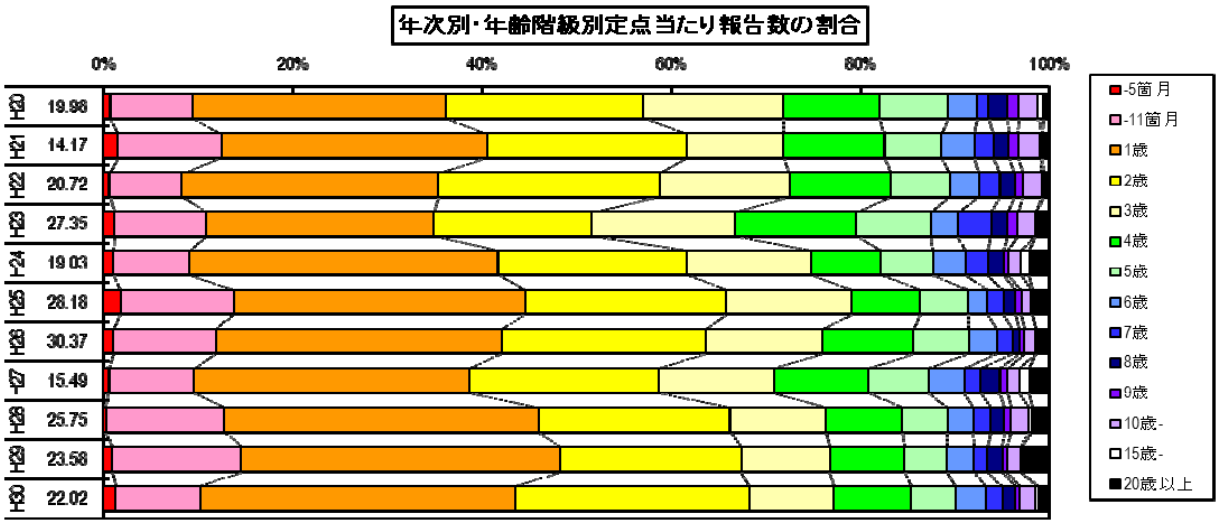
月別定点当たり報告数では，7月（8.47），8月（4.16），9月（2.93）の順であった。

年齢階級別では，1歳（33.4%）が最も多く，　次いで　2歳（24.7%），　6箇月～11箇月及び3歳（9.0%）の順で，6箇月～3歳が全体の76.1%を占めた。





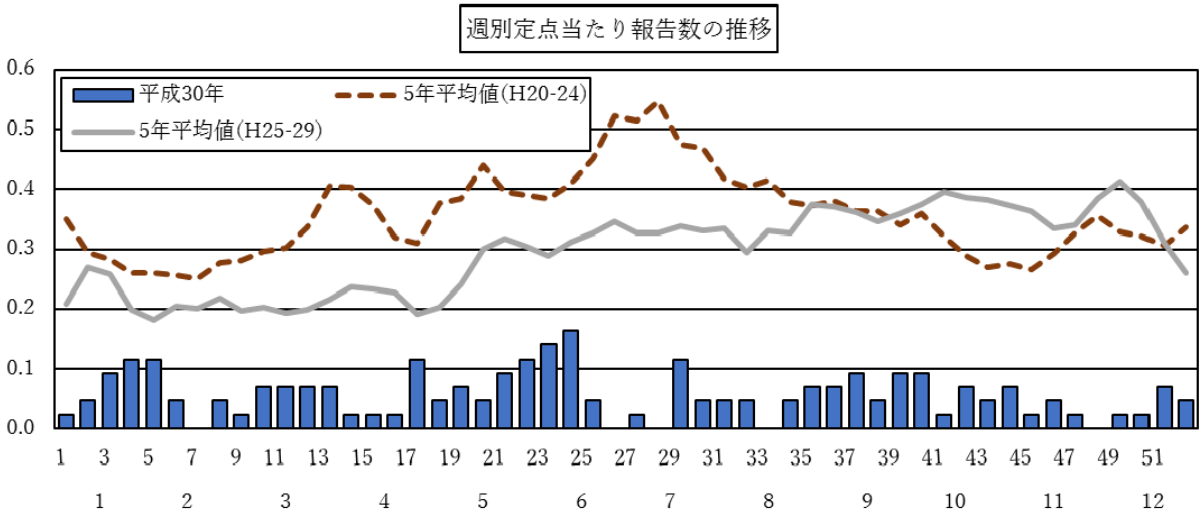
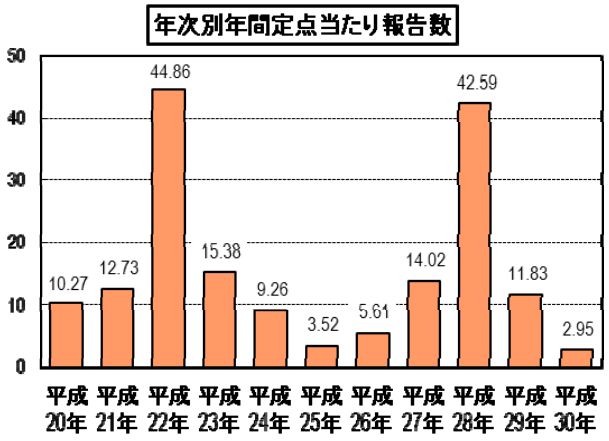
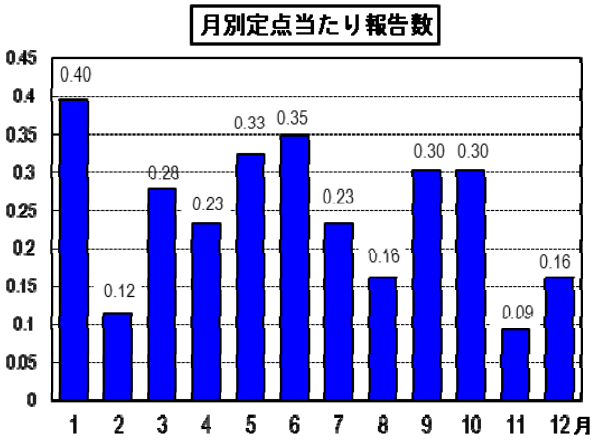
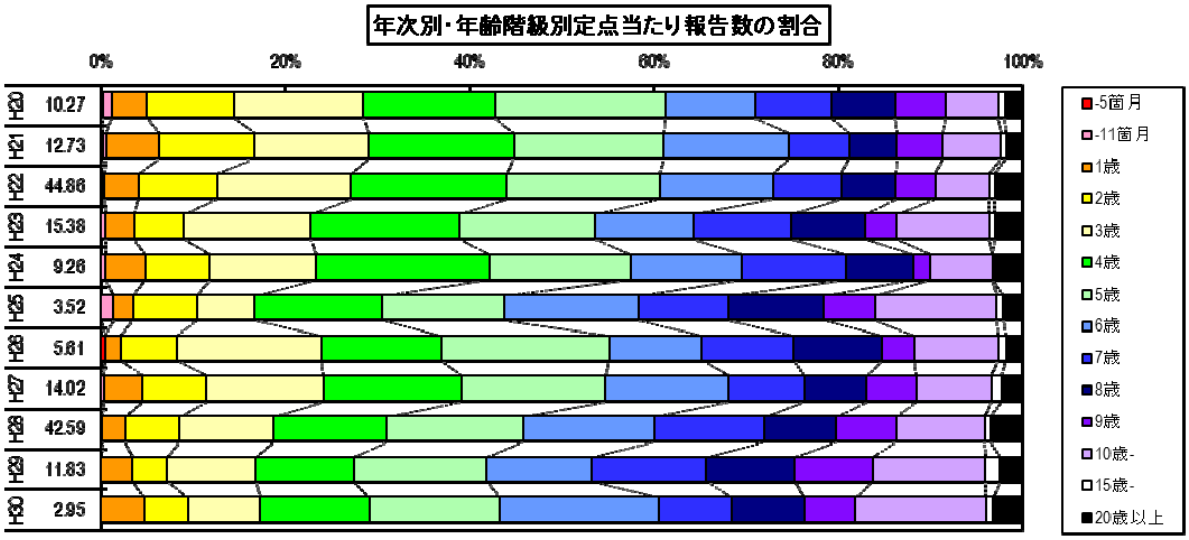




(ｺ)　流行性耳下腺炎

平成30年は年間報告数127例，年間定点当たり報告数2.95，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.19，前年比0.25であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数で最も少なかった。

月別定点当たり報告数では，1月（0.40），6月（0.35），5月（0.33）の順に多かった。

年齢階級別では，6歳（17.3%），次いで5歳及び10～14歳（14.2%）の順であった。